

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4679100190
法人名	有限会社 ウィル
事業所名	グループホーム たんぽぽの家
所在地	鹿児島県大島郡徳之島町亀津122番地2 (電話) 0997-81-1249
自己評価作成日	令和2年1月31日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年2月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

A棟(H17年4月)、B棟(H21年4月)に開設しています。
 認知症の利用者様が穏やかに楽しく過ごせるように日々職員全員で模索しながら支援に取り組んでおります。
 利用者様の自立を目指した支援に努めており、要介護から要支援となり在宅へ復帰した方、寝たきりから車椅子での自走ができるようになった方、車椅子から押し車移動が可能となりトイレでの排泄も自立できた方もいらっしゃいます。
 自身で歩き動けるようになれば転倒骨折の恐れもでてきます。しかし利用者様の動きたいという意向を重視し、できる能力は活用させたいという施設方針への理解を頂けないと自立支援につなげることができませんので、ご家族の皆さまからの当施設に対する理解と協力をお願いしております。
 日々の生活では、利用者様との語らい、レクリエーションを楽しみながら過ごせるような支援を行っています。
 また、近隣の医療機関との連携体制を取り入れ、重度化した際や終末期の対応もできるように、ご家族の協力もあり施設内での看取りなども行っています。
 職場環境については、職員の資格取得への働きかけ、研修への参加も積極的に取り組み、コミュニケーションを重視した働きやすい職場作りにも取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・事業所の理念を職員は共有し「ゆっくり」「のんびり」「楽しく」をいつも心に受け止め、利用者のペースに合わせた支援をしている。地域とのかかわりを重視し、地域住民や家族を交えたソーメン流しを園庭で行う事も年間行事として実施、学生の職場体験学習も受入れ交流を大切に取り組んでいる。
- ・看取りケアの研修会に職員は積極的に参加し、事業所の看取りで意欲的に取り組み、数名の利用者を看取っている。
- ・車いすの利用者を手押し車でのトイレ誘導の練習を行いオムツ使用からリハビリパンツになるなど排泄の自立に向けた支援ができています。
- ・職員の要望やアイデアなどを管理者は理解し即対応している。職員と管理者の関係性もよく、資格取得や明るい職場づくりに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	自宅のような温かさや雰囲気に近いような支援を行っています。地域との交流事業も実践し開かれたホーム作りに努めています。	事業所の理念である「ゆっくり」「のんびり」「楽しく」を常に心に留め利用者のペースに合わせた支援を職員で共有し支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	区のお祭りや行事に積極的に参加。運営推進会の参加もあります。顔なじみの関係を築けているので、積極的に交流を深めています。	地区の敬老会の参加や夏のソーメン流しを地域の方にも呼びかけ家族、子供たちとも交流している、又高校生の職場体験の受入れで交流するなど地域との交流が日常的にできている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所の企画「ソーメン流し」等で地域との交流を図ったときに、GHとはどういう場所か、認知症の方との接し方等発信しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営会議を実施。利用者家族、民生委員、近隣住民、行政の参加がある。ヒヤリハット、入所者状況の報告、困りごと、悩みごとを相談できる場となっています。	定期的に運営推進会議を開催し、防災訓練を同日に行い、看取りの研修の案内なども紹介し、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	看取り加算を取得するときに、GHの追加書類や不足書類を丁寧に教えていただきました。とても分かりやすく、今後に繋がられるものとなりました。	書類関係の提出時などに相談しアドバイスを得ている。担当職員とは協力関係ができています。研修会に参加し情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	1年に2回以上の「身体拘束排除に向けての研修会」を実施。身体拘束、スピーチロックについての研修等積極的に実施しています。玄関の施錠は夜間以外は行っていません。	身体拘束に関する研修会を年2回実施している。玄関の施錠は夜間のみ行っている。外出希望者は見守りをしながら一緒に散歩するなどしている。拘束する言葉は使用しないように職員間で気づいたときは注意し合っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	1年に2回以上の「虐待防止」についての研修会を実施。身体的虐待、精神的虐待についての研修を積極的に行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	1年に1回の「権利擁護」についての研修会を実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入所の際に契約書や施設の重要事項説明書、終末期に対する意向等の書類があり、利用者のご家族に説明を行い、話し合いを基に理解・納得を図っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	2か月に1回の運営会議を実施しており、外部の方を交えての会議の中で利用者家族の方の意見をいただいています。また、そこでいただいた意見はミーティングや議事録などで全職員に共有しています。	本人からは日常の生活の中で思いを把握している。家族からは面会時に状況を話し、健康面や食事に関することなど報告している。家族の代表が運営推進会議に参加し要望や意見を聞き、運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の全職員参加のミーティングがあり、提案や意見交換を行っています。日々の業務の中でも積極的に職員と意見を取り交わし、運営や利用者のケアについてより良くできるような関係作りに努めています。	職員会議を毎月開催し、ケアについてや排泄の自立ができた事例、勤務の調整や有休の取得などを聞き、書面での要望など、運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得や勤務年数などでのキャリアアップにより給与水準の上昇、資格取得補助規程、施設外研修への参加も積極的に推進しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>資格取得への資金援助を積極的に行っている。介護福祉士取得者数も多いと思います。今後も3名の介護福祉士資格取得を計画しています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>連携医療機関や徳之島地区GH協議会と連携して複数施設合同の職員向けの研修会の実施などを行っており、同業者との意見交流などができる取り組みをしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	利用者様とは入所前の面談にはじまり、入所した後は信頼関係を築けるように密に接し、本人の言葉やかかわりから見えてくる価値観等を模索します。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入所申込の際に家族の困りごとなどを聞き取りしています。入所後も電話やline等で密に連絡を取り合っています。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	その時その時で必要とされるサービスも変化していくので、スタッフ全員で密なコミュニケーションをとり、柔軟に対応できる体制を構築しています。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	昔の徳之島の生活風景、戦争当時の様子、食事の味付けの相談、昔歌を教わったり、利用者から学ぶことで新しい発見もあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	特に終末期の時は、家族の食事介助の協力を要請しています。必要な時は家族への面会要請も行っています。積極的にホームに来てもらえるような働きかけも行っています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間や外出時間、外泊にも制限を設けていなく、気軽にいつでも尋ねられるような雰囲気（家族への声かけ等）を作っています。	面会時間や外出時間の制限をせずに自由に面会や自宅に連れて帰ったり、馴染みの美容室に行くなど、行きたいところへ出かけられるように配慮している。家族や友達の訪問も気軽にできるような雰囲気を作っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日課やレクリエーションで、利用者同士が楽しく参加できるような声掛けや支援を行っています。風船バレーは盛り上がります。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後も、必要に応じてご家族との電話相談を受け付けており、入院による退所も医療機関の相談員と連携しながらフォローを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人と時間をかけて職員全員で信頼関係を築けるように接している。本人の言葉や意向、等気づいたことは記録し全員で共有できるようにしています。	会話や表情で思いを把握するように努めている。把握できた事は記録して職員で共有している。把握の困難な利用者には家族と話し合い本人の思いに添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の事前情報にはじまり、本人や家族、親戚、友人からの話を聞いて、その人本人を知りえる情報を得られるようにかかわっています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	起床・就寝時間、食事時間、入浴日、入浴時間も固定せず、本人の体調、気分、意向を優先しながら柔軟に対応しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎日利用者の状態を見ながら柔軟なケアを実施し、計画変更時は速やかに共有できるように記録し全員で共有しています。家族にもその都度情報伝達し、計画書へ反映しています。	家族や介護職員等と状況を把握し、主治医からの意見を組み入れ介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月から4ヶ月毎に実施している。状況の変化時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日勤務職員全員で記録記入する時間を設けており、その時に利用者の小さな気づき等話し合い記録することで、その日の勤務外の職員にも共有できるように配慮しています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族が相談しながら取り組めるようにコミュニケーションを図っています。その都度柔軟に対応し、変化があれば必ず記録や共有しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>家族との外出や外食、外泊を積極的に推進しています。本人が希望した美容院への外出、お墓参りや自宅へのドライブも行っています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携体制により、毎月1回訪問診療、毎月2回の訪問看護や、24時間対応可能な医療相談などがあり、必要に応じて医療機関への受診も行えます。</p>	<p>入所時に本人や家族の意向を聞き、支援している。月1回の訪問診療もある。歯科や眼科受診など家族が同行したり、適切な医療が受けられるような支援を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師へ都度の連絡をおこなっており、指示や助言も受けています。その都度、細かい記録もとって共有しています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院の相談員とも密に連絡を取り合っているので信頼関係はできています。その都度情報交換を行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時にたんぼぼの家の方針を説明し家族の意向も記録しています。しかし、家族の意向も変化したり、状態もかわっていくので、その都度医療と連携しながら終末期対応に取り組んでいます。</p>	<p>入所時に事業所の方針を説明し状況の変化で家族の意向も変化する事もあり、確認しながら支援している。家族や医療機関との連携で看取りケアの支援にも取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>職員研修で応急手当の対応を行っています。事故発生時も連絡体制を構築し、わかりやすいように掲示しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回の消防指導のもと災害訓練を実施しています。運営推進会議等で近隣住民や民生委員にも協力を呼び掛けたりしています。</p>	<p>災害訓練を年2回、夜間想定で実施している。民生委員や近隣住民に声掛けを行い一緒に参加して貰っている。備蓄は飲料水を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	施設は全個室完備であり、トイレ誘導時の声かけなどもプライバシーに配慮しています。ユマニチュードなどを実践できるスタッフ教育を行っています。	プライバシーの研修は年1回実施し、職員のコミュニケーション教育も行っている。トイレ誘導の声掛けは、さりげなく行っている。	トイレのドアがなく、使用の際の配慮が望まれる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日課活動、入浴日も大まかな取り決めはあるが、絶対ではないので、本人の声を聴きながら柔軟に対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな日課や活動はありますが、体調や気分によって柔軟に取り組みを支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	パーマカラーの美容室への外出支援も行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「ここの食事は美味しいよ。楽しみよ」と言われる利用者さんも何名かいます。スタッフも同じ時間に同じ食事を摂ることにより、会話をしながら食事を楽しんでいます。	嗜好を聞き、「肉が食べたい」などの要望があり、提供している。食材の下拵えや台拭き・お盆拭きなど、個々の状況により職員と一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個別対応（刻み食、ムース食、お粥食）しています。医療とも連携し、栄養状態を評価しており、必要な利用者には栄養剤の補給も行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアの実施 定期的な訪問歯科診療、 訪問歯科による個別ケアや指導 助言もいただいています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>本人のできる能力に応じた対応をとっており、オムツ→Rパンツへの変更や、トイレでの排泄が自立できた例もあります。 職員全員で排泄記録、トイレ誘導に取り組み、自立に向けて支援しています。</p>	<p>車椅子使用の利用者へ、声掛けして手押し車でトイレ誘導の訓練を行いオムツ使用からリハビリパンツ使用になるなど、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便記録を付けています。 予防工夫に取り組んでいるが、それでも3日の排便記録がない時は便秘薬を服用し、排便を促しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日を決めていません。3日に1回の入浴を実施し、それ以外にも汚れたり、本人の要望があれば柔軟できる体制を取っています。	入浴日は決めてなく本人の希望に添えるように支援している。拒否する利用者も翌日に声掛けして3日に1度は入浴できるようにしている。好みに椿油などを使用し楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	おおよその目安で食時間や起床時間、就寝時間を決めていますが、本人の意向を優先し、柔軟に対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の詳細についての服薬カードをスタッフ全員で共有し、記録にて服薬状況など記録・共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日課（洗濯たたみ、調理手伝い等）、活動（風船バレー、歌あそび、体操等）を実施し、楽しみながら過ごせるように支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	A棟B棟の往来は自由にできています。家族との外出も気軽に外出、外泊、親戚とのカラオケ大会、旅行にも出かけられている利用者もいます。	家族と外出や旅行などをされたり、特に時間の制限をしてないので、カラオケや外食に家族と行かれることもある。ユニット間を自由に行き来をして日常的に外出支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人・家族の要望に応じて、現金所持を承認しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話を所持している利用者もいます。 本人の要望があれば柔軟に対応。家族からの電話も基本的に時間制限なく自由に受け付けています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>トイレは分かりやすいように張り紙を設置しています。 ソファも設置しくつろげるように考慮しています。 季節ごとに飾る付けを変えています。（お正月飾り、節分、ひな祭り、等）</p>	<p>共用の場は畳の間とソファが置いてあり、好みの場所で寛いでいる。壁には夏の行事のソーメン流しで近所の方や子供たち・家族と一緒に利用者の楽しんでいる写真が飾っており、居心地よく過ごせる工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自室や食堂で過ごす方、玄関ソファで居眠りされる方、テレビ前のソファで過ごす方、それぞれが自由に過ごせるように配慮しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なじみの家具の持ち込みや、家族の写真、家財道具、位牌等持ち込まれている利用者もいます。</p> <p>個室にテレビを設置している利用者も何名かいます。</p>	<p>部屋には馴染みの家具や衣類・家族写真などが飾られ、位牌やテレビなどを持ってきている。</p> <p>個々の好みで安心して居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレへの案内図、居室の名前等混乱のないように配慮しています。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない